

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ インド債券ファンド(毎月決算型)」は、2017年8月15日に第24期の決算を行いました。ここに作成期中(第19期から第24期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2025年8月15日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資を通じて、主としてインド債券に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。 トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。 実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
主要運用対象	インベスコ インド債券ファンド (毎月決算型)	「インベスコ インド債券マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ インド債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券※へ投資し、主としてインド債券に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券(マザーファンド受益証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



運用報告書(全体版)

- 第19期 (決算日 2017年3月15日)
- 第20期 (決算日 2017年4月17日)
- 第21期 (決算日 2017年5月15日)
- 第22期 (決算日 2017年6月15日)
- 第23期 (決算日 2017年7月18日)
- 第24期 (決算日 2017年8月15日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 期 騰 落 金 騰 落			中 率
(設定日)	円		円		%	百万円	
2015年9月4日	10,000		—		—	40	
1期(2015年9月15日)	10,020		0		99.6	40	
2期(2015年10月15日)	10,151		100		98.9	40	
3期(2015年11月16日)	10,181		100		99.3	42	
4期(2015年12月15日)	9,822		100	△	2.5	99.5	41
5期(2016年1月15日)	9,478		100	△	2.5	99.6	39
6期(2016年2月15日)	8,831		100	△	5.8	99.6	37
7期(2016年3月15日)	8,936		100		2.3	99.7	38
8期(2016年4月15日)	8,807		100	△	0.3	99.7	38
9期(2016年5月16日)	8,620		100	△	1.0	99.6	37
10期(2016年6月15日)	8,256		100	△	3.1	99.7	36
11期(2016年7月15日)	8,253		130		1.5	99.9	37
12期(2016年8月15日)	8,024		130	△	1.2	99.8	36
13期(2016年9月15日)	8,027		130		1.7	99.9	37
14期(2016年10月17日)	8,161		130		3.3	100.0	38
15期(2016年11月15日)	8,186		130		1.9	99.9	40
16期(2016年12月15日)	8,895		130		10.2	99.8	44
17期(2017年1月16日)	8,489		130	△	3.1	99.8	43
18期(2017年2月15日)	8,363		130		0.0	99.8	43
19期(2017年3月15日)	8,276		130		0.5	99.8	43
20期(2017年4月17日)	8,006		130	△	1.7	99.8	42
21期(2017年5月15日)	8,264		130		4.8	99.8	45
22期(2017年6月15日)	8,057		130	△	0.9	99.6	45
23期(2017年7月18日)	8,123		130		2.4	99.3	46
24期(2017年8月15日)	7,905		130	△	1.1	98.6	46

(注) 基準価額および分配金は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは、インド債券（インド政府、地方自治体、および政府機関が発行、保証する債券、インドの企業が発行、保証する債券）を実質的な主要投資対象としていますが、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しないため、ベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰	落	
第19期	(期 首) 2017年 2月15日	円 8,363		% -	% 99.8
	2月末	8,211		△1.8	98.3
	(期 末) 2017年 3月15日	8,406		0.5	99.8
第20期	(期 首) 2017年 3月15日	8,276		-	99.8
	3月末	8,355		1.0	98.4
	(期 末) 2017年 4月17日	8,136		△1.7	99.8
第21期	(期 首) 2017年 4月17日	8,006		-	99.8
	4月末	8,250		3.0	98.3
	(期 末) 2017年 5月15日	8,394		4.8	99.8
第22期	(期 首) 2017年 5月15日	8,264		-	99.8
	5月末	8,118		△1.8	98.5
	(期 末) 2017年 6月15日	8,187		△0.9	99.6
第23期	(期 首) 2017年 6月15日	8,057		-	99.6
	6月末	8,176		1.5	98.2
	(期 末) 2017年 7月18日	8,253		2.4	99.3
第24期	(期 首) 2017年 7月18日	8,123		-	99.3
	7月末	8,038		△1.0	97.0
	(期 末) 2017年 8月15日	8,035		△1.1	98.6

(注) 基準価額は1万円当たりです。

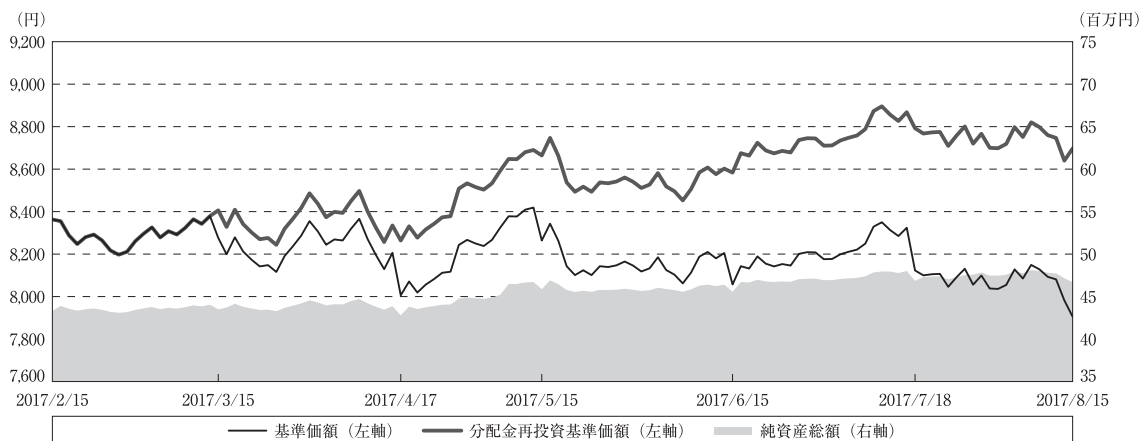
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年2月16日～2017年8月15日)



第19期首：8,363円

第24期末：7,905円（既払分配金(税込み)：780円）

騰落率：4.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年2月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

[上昇要因]

- 主としてインド債券（インド政府、地方自治体、および政府機関が発行、保証する債券、インドの企業が発行、保証する債券です。以下同じです。）を実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券から高水準のインカムゲイン（利息収入）を獲得したほか、金利が低下（債券価格は上昇）したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- 実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行わなかったため、作成期を通じては為替市場でインドルピーが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- インド準備銀行（RBI）による政策金利の引き下げにより、一部の銀行銘柄の価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

<インド国債利回り>

2年 6.31%（前作成期末6.51%） 5年 6.50%（同6.81%） 10年 6.52%（同6.86%）

<対円為替レート>

インドルピー／円 1円73銭（前作成期末1円72銭）

※上記は当作成期末時点の数値です。

当作成期において、インド債券市場では、長期金利が低下しました。作成期初は、2017年2月の金融政策決定会合でRBIが将来的な物価上昇を示唆した上で、市場予想に反して金融政策スタンスを「緩和」から「中立」に変更したほか、4月にはRBIによるリバースレポ金利の引き上げもあり、長期金利には上昇（債券価格は下落）圧力のかかりやすい展開となりました。しかし5月以降、消費者物価指数（CPI）の前年比での鈍化が目立ちはじめ、7月には2012年の統計開始来最低水準である+1.5%を記録しました。市場では、物価水準の低下を受けてRBIによる利下げを期待する声が強くなり、長期金利は低下に向かいました。さらに8月には、RBIが2017年後半以降の物価動向には強気な見通しを示しながらも0.25%の利下げを行い、海外投資家の資金流入と合わせて債券市場を下支えしました。

為替市場では、日本銀行が物価目標の達成時期を先送りするなどの緩和姿勢を続ける中で、RBIの金融緩和策に対する市場の反応は限定的となったほか、2017年2月から3月にかけて地方選挙でモディ首相のインド人民党が勝利したことなどを受けてインドルピーが上昇する場面も見られ、作成期を通じて見るとインドルピーが対円で小幅に上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ インド債券 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、主としてインド債券に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券に投資を行いました。同外国投資信託では、主としてインド債券に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。

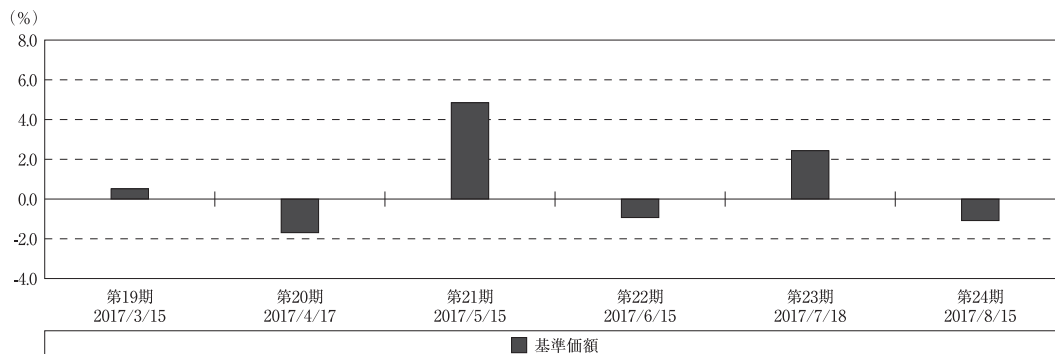
イールドカーブの形状がスティープ化（長短金利差の拡大）していることや、インフレ率の伸びが鈍化する環境が続き、RBIが緩和的な金融政策を継続する見通しなどから、インド債券市場は良好な投資環境にあると判断し、ポートフォリオのデュレーションを5～6年程度で推移させました。また、高格付け社債に対する組入比率を高位とする戦略を継続しました。

マネープール・ファンドでは、資産規模、市場環境などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率（分配金込み）です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第19期から第24期まで1万口当たり130円（全て税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
	2017年2月16日～ 2017年3月15日	2017年3月16日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月15日	2017年6月16日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月15日
当期分配金	130	130	130	130	130	130
（対基準価額比率）	1.547%	1.598%	1.549%	1.588%	1.575%	1.618%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	130	130	130	130	130	130
翌期繰越分配対象額	8,708	8,616	8,526	8,433	8,340	8,244

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、主としてインド債券に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券に投資を行います。同外国投資信託では、主としてインド債券に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。

インドでは財政赤字の縮小、インフレの抑制、貿易収支の改善、外貨準備の増加などファンダメンタルズの改善が確認されているため、インド債券市場の投資環境は良好であると判断しています。ポートフォリオのデュレーションは6年程度を維持し、高格付け社債に対する組入比率を高位とする方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年2月16日～2017年8月15日)

項 目	第19期～第24期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	32	0.391	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.348)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.072	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.019)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(3)	(0.034)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合 計	38	0.463	
作成期間の平均基準価額は、8,191円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年2月16日～2017年8月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第19期～第24期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ インド債券 マザーファンド	千口 5,537	千円 6,019	千口 4,163	千円 4,493

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月16日～2017年8月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年8月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第18期末		第24期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
インベスコ	マネーパブル・ファンド(適格機関投資家私募投信)		50		50	49	0.1
	合 計		50		50	49	0.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘	柄	第18期末		第24期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
インベスコ	インド債券 マザーファンド		41,559		42,933	47,449

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年8月15日現在)

項 目	第24期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	49	0.1
インベスコ インド債券 マザーファンド	47,449	99.9
コール・ローン等、その他	1	—
投資信託財産総額	47,499	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ インド債券 マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(45,992千円)の投資信託財産総額(47,448千円)に対する比率は96.9%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末	第24期末
	2017年3月15日現在	2017年4月17日現在	2017年5月15日現在	2017年6月15日現在	2017年7月18日現在	2017年8月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	44,209,353	43,532,057	46,618,313	46,333,844	47,642,644	47,499,894
投資信託受益証券(評価額)	49,950	49,945	49,940	49,935	49,935	49,930
インベスコ インド債券 マザーファンド(評価額)	44,159,403	43,482,112	46,568,373	46,283,909	47,584,396	47,449,964
未収入金	—	—	—	—	8,313	—
(B) 負債	713,218	730,595	752,341	770,084	796,252	800,714
未払収益分配金	683,277	694,986	721,504	735,151	749,756	768,021
未払解約金	—	—	—	—	8,313	—
未払信託報酬	26,349	31,337	27,136	30,750	33,599	28,769
その他未払費用	3,592	4,272	3,701	4,183	4,584	3,924
(C) 純資産総額(A-B)	43,496,135	42,801,462	45,865,972	45,563,760	46,846,392	46,699,180
元本	52,559,814	53,460,500	55,500,373	56,550,112	57,673,560	59,078,541
次期繰越損益金	△ 9,063,679	△10,659,038	△ 9,634,401	△10,986,352	△10,827,168	△12,379,361
(D) 受益権総口数	52,559,814口	53,460,500口	55,500,373口	56,550,112口	57,673,560口	59,078,541口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,276円	8,006円	8,264円	8,057円	8,123円	7,905円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注) 当ファンドの第19期首元本額は51,782,814円、第19～24期中追加設定元本額は7,336,782円、第19～24期中一部解約元本額は41,055円です。

(注) 2017年8月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は12,379,361円です。

○損益の状況

項 目	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
	2017年2月16日～ 2017年3月15日	2017年3月16日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月15日	2017年6月16日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	253,962	△ 709,059	2,145,121	△ 396,557	1,156,804	△ 487,956
売買益	257,397	1	2,145,126	—	1,163,279	1
売買損	△ 3,435	△ 709,060	△ 5	△ 396,557	△ 6,475	△ 487,957
(B) 信託報酬等	△ 29,941	△ 35,609	△ 30,837	△ 34,933	△ 38,183	△ 32,693
(C) 当期損益金 (A+B)	224,021	△ 744,668	2,114,284	△ 431,490	1,118,621	△ 520,649
(D) 前期繰越損益金	681,109	905,130	160,462	2,274,746	1,842,295	2,960,916
(E) 追加信託差損益金	△ 9,285,532	△10,124,514	△11,187,643	△12,094,457	△13,038,328	△14,051,607
(配当等相当額)	(5,081,262)	(5,182,399)	(6,245,732)	(6,424,097)	(6,659,528)	(7,082,889)
(売買損益相当額)	(△14,366,794)	(△15,306,913)	(△17,433,375)	(△18,518,554)	(△19,697,856)	(△21,134,496)
(F) 計 (C+D+E)	△ 8,380,402	△ 9,964,052	△ 8,912,897	△10,251,201	△10,077,412	△11,611,340
(G) 収益分配金	△ 683,277	△ 694,986	△ 721,504	△ 735,151	△ 749,756	△ 768,021
次期繰越損益金 (F+G)	△ 9,063,679	△10,659,038	△ 9,634,401	△10,986,352	△10,827,168	△12,379,361
追加信託差損益金	△ 9,968,809	△10,819,500	△11,909,147	△12,829,608	△13,788,084	△14,819,628
(配当等相当額)	(4,397,989)	(4,487,991)	(5,529,009)	(5,690,231)	(5,910,965)	(6,314,955)
(売買損益相当額)	(△14,366,798)	(△15,307,491)	(△17,438,156)	(△18,519,839)	(△19,699,049)	(△21,134,583)
分配準備積立金	41,374,783	41,578,484	41,795,499	41,999,343	42,194,545	42,395,315
繰越損益金	△40,469,653	△41,418,022	△39,520,753	△40,156,087	△39,233,629	△39,955,048

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
(A) 配当等収益 (費用控除後)	194,043円	203,701円	217,015円	203,844円	217,106円	200,770円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	5,081,266	5,182,977	6,250,513	6,425,382	6,660,721	7,082,976
(D) 分配準備積立金	41,180,740	41,374,783	41,578,484	41,795,499	41,977,439	42,194,545
分配可能額 (A+B+C+D)	46,456,049	46,761,461	48,046,012	48,424,725	48,855,266	49,478,291
(1万円当たり分配可能額)	(8,838)	(8,746)	(8,656)	(8,563)	(8,470)	(8,374)
収益分配金	683,277	694,986	721,504	735,151	749,756	768,021
(1万円当たり収益分配金)	(130)	(130)	(130)	(130)	(130)	(130)

○分配金のお知らせ

	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
1万円当たり分配金 (税込み)	130円	130円	130円	130円	130円	130円



運用報告書

第4期

決算日 2017年8月15日

(計算期間：2017年2月16日から2017年8月15日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none">・別に定める投資信託証券への投資を通じて、主としてインド債券に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。・実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	別に定める投資信託証券※ ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券です。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2015年9月4日	10,000		—	—	39
1期(2016年2月15日)	9,335	△	6.7	98.4	37
2期(2016年8月15日)	9,207	△	1.4	98.2	37
3期(2017年2月15日)	10,578		14.9	98.2	43
4期(2017年8月15日)	11,052		4.5	96.9	47

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、インド債券（インド政府、地方自治体、および政府機関が発行、保証する債券、インドの企業が発行、保証する債券）を実質的な主要投資対象としていますが、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しないため、ベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	
2017年2月15日	10,578		—	98.2
2月末	10,389	△	1.8	98.3
3月末	10,744		1.6	98.4
4月末	10,791		2.0	98.3
5月末	10,796		2.1	98.4
6月末	11,059		4.5	98.1
7月末	11,053		4.5	97.0
(期 末)				
2017年8月15日	11,052		4.5	96.9

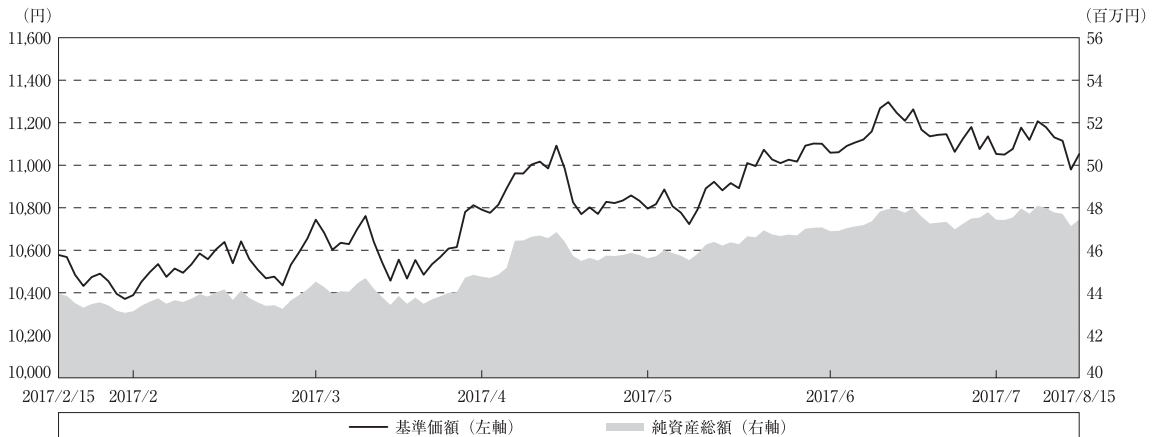
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年2月16日～2017年8月15日)



期 首：10,578円
 期 末：11,052円
 騰落率： 4.5%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・主としてインド債券（インド政府、地方自治体、および政府機関が発行、保証する債券、インドの企業が発行、保証する債券です。以下同じです。）を実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券から高水準のインカムゲイン（利息収入）を獲得したほか、金利が低下（債券価格は上昇）したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、期を通じては為替市場でインドルピーが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・インド準備銀行（RBI）による政策金利の引き下げにより、一部の銀行銘柄の価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

<インド国債利回り>

2年 6.31% (前期末6.51%) 5年 6.50% (同6.81%) 10年 6.52% (同6.86%)

<対円為替レート>

インドルピー／円 1円73銭 (前期末1円72銭)

※上記は当期末時点の数値です。

当期において、インド債券市場では、長期金利が低下しました。期初は、2017年2月の金融政策決定会合でRBIが将来的な物価上昇を示唆した上で、市場予想に反して金融政策スタンスを「緩和」から「中立」に変更したほか、4月にはRBIによるリバースレポ金利の引き上げもあり、長期金利には上昇（債券価格は下落）圧力のかかりやすい展開となりました。しかし5月以降、消費者物価指数（CPI）の前年比での鈍化が目立ちはじめ、7月には2012年の統計開始来最低水準である+1.5%を記録しました。市場では、物価水準の低下を受けてRBIによる利下げを期待する声が強くなり、長期金利は低下に向かいました。さらに8月には、RBIが2017年後半以降の物価動向には強気な見通しを示しながらも0.25%の利下げを行い、海外投資家の資金流入と合わせて債券市場を下支えしました。

為替市場では、日本銀行が物価目標の達成時期を先送りするなどの緩和姿勢を続ける中で、RBIの金融緩和策に対する市場の反応は限定的となったほか、2017年2月から3月にかけて地方選挙でモディ首相のインド人民党が勝利したことなどを受けてインドルピーが上昇する場面も見られ、期を通じて見るとインドルピーが対円で小幅に上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

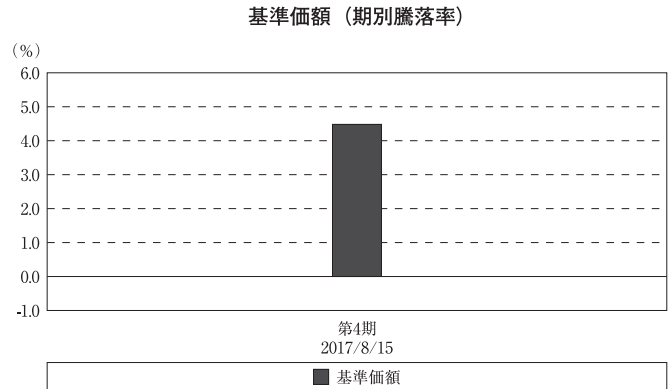
主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券に投資を行いました。同外国投資信託では、主としてインド債券に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジは行いませんでした。

イールドカーブの形状がスティープ化（長短金利差の拡大）していることや、インフレ率の伸びが鈍化する環境が続き、RBIが緩和的な金融政策を継続する見通しなどから、インド債券市場は良好な投資環境にあると判断し、ポートフォリオのデュレーションを5～6年程度で推移させました。また、高格付け社債に対する組入比率を高位とする戦略を継続しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラス C-MD投資信託証券に投資を行います。同外国投資信託では、主としてインド債券に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲイン（利息収入）の確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

インドでは財政赤字の縮小、インフレの抑制、貿易収支の改善、外貨準備の増加などファンダメンタルズの改善が確認されているため、インド債券市場の投資環境は良好であると判断しています。ポートフォリオのデュレーションは6年程度を維持し、高格付け社債に対する組入比率を高位とする方針です。

○当ファンドのデータ

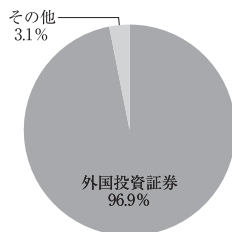
(2017年8月15日現在)

【組入上位ファンド】

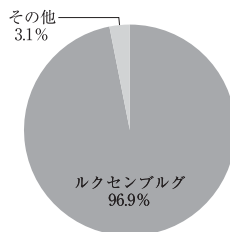
銘柄名	第4期末
インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD	96.9%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

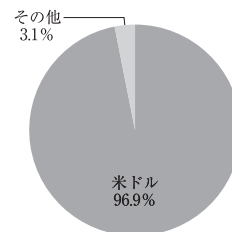
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 2月16日～2017年 8月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.019 (0.019)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	2	0.019	
期中の平均基準価額は、10,805円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年 2月16日～2017年 8月15日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 アメリカ インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD	千口 1	千米ドル 20	千口 0.061	千米ドル 0.6

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は小数で記載しています。

○ 利害関係人との取引状況等

(2017年 2月16日～2017年 8月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年8月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	%	
インベスコ インディア・ボンド・ファンド クラスC-MD	38	40	417	45,992	96.9	
合 計	口 数 ・ 金 額	38	40	417	45,992	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 96.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数および評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2017年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	45,992	96.9
コール・ローン等、その他	1,456	3.1
投資信託財産総額	47,448	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(45,992千円)の投資信託財産総額(47,448千円)に対する比率は96.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年8月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	47,448,109
コール・ローン等	1,455,295
投資証券(評価額)	45,992,814
(B) 負債	3
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	47,448,106
元本	42,933,374
次期繰越損益金	4,514,732
(D) 受益権総口数	42,933,374口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,052円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	41,559,050円
期中追加設定元本額	5,537,984円
期中一部解約元本額	4,163,660円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ インド債券ファンド(毎月決算型)	42,933,374円
合計	42,933,374円

○損益の状況 (2017年2月16日~2017年8月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,362,029
受取配当金	1,362,391
支払利息	△ 362
(B) 有価証券売買損益	609,186
売買益	2,290,973
売買損	△1,681,787
(C) 保管費用等	△ 8,478
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,962,737
(E) 前期繰越損益金	2,400,486
(F) 追加信託差損益金	481,493
(G) 解約差損益金	△ 329,984
(H) 計(D+E+F+G)	4,514,732
次期繰越損益金(H)	4,514,732

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ インディア・ボンド・ファンド

「インベスコ インド債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ インディア・ボンド・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

当ファンドは、「インベスコ インド債券 マザーファンド」が投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-MD投資信託証券です。

○ファンドの仕組み

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
主要投資対象	インド債券に投資します。
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インド債券に投資することにより、配当利回りの確保および長期的な元本の成長を目指します。 ・原則として、純資産総額の70%以上をインド債券に投資します。 ・純資産総額の30%を超えない範囲で、インド債券以外の公社債や現金または現金同等物に投資することがあります。 ・投資顧問会社のインベスコ・香港・リミテッドは、当該運用について、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）の助言を受けます。 ・効率的な運用およびヘッジ目的のため、デリバティブ取引を行うことがあります。 ・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
管理会社	インベスコ・グローバル・アセット・マネジメント・リミテッド
投資顧問会社	インベスコ・香港・リミテッド
決算日	毎年2月末日
分配方針	分配は毎月最終ファンド営業日に行われ、翌月の11日（ファンド営業日でない場合は翌営業日）に支払われます。

インベスコ インディア・ボンド・ファンドは、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。以下に掲載している情報は、2017年2月28日現在のFINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

○損益計算書及び純資産額変動計算書

(2016年3月1日から2017年2月28日までの期間)

(単位：米ドル)

収益	
受取利息 (債券)	5,337,255
マーケットディスカウントの増価 / (マーケットプレミアムの償却)	(113,782)
受取利息	4,140
その他収益	1,526
	5,229,139
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	800,649
サービス代行報酬	128,321
保管報酬	66,091
ルクセンブルグの税金	37,152
事務代行費用	59,748
組成費用	12,471
	1,104,432
当期投資純利益 / (損失)	4,124,707
支払及び未払分配金	(1,609,606)
未払キャピタルゲイン税に対する引当金の増加 / (減少)	(35,368)
受益証券発行 / (買戻) による純収益 / (支払) 金	34,447,279
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨の処分に係る 実現純利益 / (損失)	(1,338,460)
為替先物予約に係る未実現評価益 / 損の純変動額	(266,350)
投資有価証券に係る未実現評価益 / 損の純変動額	4,296,586
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益 / 損の純変動額	87,040
期首純資産額	63,594,891
期末純資産額	103,300,719

○投資有価証券明細表

(2017年2月28日現在)			
銘柄	額面	時価 (米ドル)	純資産に占める 割合 (%)
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券			
債券			
BASIC MATERIALS			
Steel Authority of India Ltd 9% INR 14/10/2024	100,000,000	1,578,453	1.53
COMMUNICATIONS			
Mahanagar Telephone Nigam Ltd 8.24% INR 19/11/2024	100,000,000	1,551,218	1.50
Mahanagar Telephone Nigam Ltd 8.28% INR 19/11/2024	100,000,000	1,554,466	1.50
Reliance Jio Infocomm Ltd 9% INR 21/01/2025	200,000,000	3,136,562	3.04
Reliance Jio Infocomm Ltd 9.25% INR 17/06/2024	100,000,000	1,586,968	1.54
		7,829,214	7.58
ENERGY			
Reliance Ports & Terminals Ltd 7.95% INR 28/10/2026	150,000,000	2,183,621	2.11
FINANCIAL			
Axis Bank Ltd 8.85% INR 05/12/2024	200,000,000	3,127,506	3.03
HDFC Bank Ltd 7.95% INR 21/09/2026	350,000,000	5,226,709	5.06
Housing Development Finance Corp Ltd 8.43% INR 04/03/2025	150,000,000	2,310,363	2.24
Housing Development Finance Corp Ltd 8.45% INR 18/05/2026	50,000,000	772,357	0.75
Housing Development Finance Corp Ltd 9.24% INR 24/06/2024	15,000,000	240,286	0.23
ICICI Bank Ltd 7.6% INR 07/10/2023	100,000,000	1,473,585	1.43
ICICI Bank Ltd 9.15% INR 06/08/2024	100,000,000	1,608,079	1.56
IDFC Bank Ltd 8.67% INR 03/01/2025	150,000,000	2,331,616	2.26
LIC Housing Finance Ltd 8.52% INR 03/03/2025	100,000,000	1,545,371	1.50
LIC Housing Finance Ltd 9.11% INR 09/04/2018	50,000,000	761,782	0.74
National Bank for Agriculture and Rural Development 7.38% INR 20/10/2031	100,000,000	1,443,406	1.40
National Bank for Agriculture and Rural Development 8.18% INR 10/02/2020	100,000,000	1,544,169	1.49
Power Finance Corp Ltd 7.63% INR 14/08/2026	250,000,000	3,702,911	3.58
Power Finance Corp Ltd 8.65% INR 28/12/2024	150,000,000	2,355,569	2.28
Power Finance Corp Ltd 9.39% INR 27/08/2029	25,000,000	418,650	0.40
Punjab National Bank 8.23% INR 09/02/2025	150,000,000	2,285,914	2.21
Rural Electrification Corp Ltd 7.52% INR 07/11/2026	200,000,000	2,949,765	2.85
Rural Electrification Corp Ltd 8.23% INR 23/01/2025	50,000,000	769,986	0.74
Rural Electrification Corp Ltd 8.3% INR 10/04/2025	150,000,000	2,320,363	2.25
Rural Electrification Corp Ltd 9.25% INR 27/08/2017	10,000,000	151,563	0.15
Rural Electrification Corp Ltd 9.61% INR 03/01/2019	10,000,000	156,504	0.15
		37,496,454	36.30
GOVERNMENT			
Export-Import Bank of India 7.62% INR 01/09/2026	150,000,000	2,229,777	2.16
Export-Import Bank of India 7.94% INR 22/05/2023	25,000,000	381,590	0.37
Export-Import Bank of India 8.87% INR 30/10/2029	150,000,000	2,435,015	2.36

銘柄	額面	時価 (米ドル)	純資産に占める 割合 (%)
Food Corp of India 9.95% INR 07/03/2022	175,000,000	2,906,883	2.81
India Government Bond 6.97% INR 06/09/2026	250,000,000	3,765,809	3.64
India Government Bond 7.61% INR 09/05/2030	150,000,000	2,304,731	2.23
India Government Bond 8.12% INR 10/12/2020	50,000,000	785,106	0.76
India Government Bond 8.24% INR 15/02/2027	22,600,000	360,946	0.35
India Government Bond 8.28% INR 21/09/2027	50,000,000	794,380	0.77
India Government Bond 8.6% INR 02/06/2028	50,000,000	812,965	0.79
India Government Bond 9.23% INR 23/12/2043	50,000,000	887,365	0.86
Indian Railway Finance Corp Ltd 9.09% INR 29/03/2026	50,000,000	822,124	0.79
Indian Railway Finance Corp Ltd 9.47% INR 10/05/2031	150,000,000	2,598,966	2.52
National Highways Authority of India 7.17% INR 23/12/2021	250,000,000	3,718,502	3.60
		24,804,159	24.01
INDUSTRIAL			
Larsen & Toubro Ltd 8.4% INR 24/09/2020	100,000,000	1,550,747	1.50
UTILITIES			
NHPC Ltd 8.54% INR 26/11/2025	50,000,000	788,203	0.76
NHPC Ltd 8.54% INR 26/11/2027	50,000,000	785,589	0.76
NHPC Ltd 8.54% INR 26/11/2029	50,000,000	789,695	0.77
NHPC Ltd 8.85% INR 11/02/2027	50,000,000	799,781	0.77
NTPC Ltd 8.1% INR 27/05/2026	100,000,000	1,536,626	1.49
NTPC Ltd 8.49% INR 25/03/2025	130,000,000	2,031,209	1.97
NTPC Ltd 9.17% INR 22/09/2024	50,000,000	812,605	0.79
Nuclear Power Corp of India Ltd 8.13% INR 28/03/2029	50,000,000	776,854	0.75
Nuclear Power Corp of India Ltd 8.13% INR 28/03/2031	50,000,000	779,453	0.76
Nuclear Power Corp of India Ltd 8.14% INR 25/03/2030	50,000,000	778,789	0.75
Nuclear Power Corp of India Ltd 8.4% INR 28/11/2027	50,000,000	789,555	0.77
Nuclear Power Corp of India Ltd 8.4% INR 28/11/2028	50,000,000	791,808	0.77
Nuclear Power Corp of India Ltd 8.4% INR 28/11/2029	100,000,000	1,587,996	1.54
Power Grid Corp of India Ltd 8.2% INR 23/01/2030	350,000,000	5,396,539	5.22
Power Grid Corp of India Ltd 9.3% INR 28/06/2019	10,000,000	156,943	0.15
Power Grid Corp of India Ltd 9.3% INR 04/09/2029	20,000,000	334,894	0.32
Reliance Utilities & Power Pvt Ltd 8.95% INR 26/04/2023	60,000,000	923,189	0.89
Reliance Utilities & Power Pvt Ltd 9.75% INR 02/08/2024	100,000,000	1,602,532	1.55
		21,462,260	20.78
債券合計		96,904,908	93.81
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の 規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計		96,904,908	93.81
投資有価証券合計		96,904,908	93.81

(参考情報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2016年11月21日現在)

2016年11月21日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2015年11月21日～2016年11月21日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△1,485
受取利息	△ 310
支払利息	△1,175
(B) 有価証券売買損益	274
売買損	274
(C) 信託報酬等	△ 627
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△1,838
(E) 前期繰越損益金	49
(F) 追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
(G) 計 (D+E+F)	△1,714
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	△1,714
追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
分配準備立金	49
繰越損益金	△1,838

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (46円) および分配準備積立金 (49円) より分配対象収益は95円 (1万円当たり0.39円) となりましたが、基準価額水準、市場動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。